



『マジス』はラテン語で、イエズス会のモットー「神のより大いなる栄光のために」を表しています。
 教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』（教皇フランシスコ）—「ミッション 2030」—福音を伝える

主キリストの呼びかけに答えていく

主イエス・キリストの復活おめでとうございます。これから主任司祭として、奉仕することになりました。

4年前、全く突然にイグナチオ教会で働くようにという任命を受けました。実のところ、イエズス会に入会してから教会で働くことを一度も考えたことがなかったです。驚きと戸惑いの中でこの教会に来たことを今でもよく覚えています。この4年間、体力的にも気力的にも限界だと思うことが何度もありましたが、神の恵みで何とか乗り切ってきました。今度は主任司祭ということで、さらなる重荷を背負うことになりました。平穏な生活や長生きなどあきらめて、与えられた職務を誠実に果たしていく以外にないと思っています。

人間的な思いはともかく、肝要な点は、主であるイエス・キリストの呼びかけに答えていくことだけです。イエス・キリストこそ教会の頭ですから、ただその主に聴き従っていくことを第一に大切にしましょう。そのため、主であるイエス・キリストがこの教会をどのように生か

していきたくと望んでおられるのか、それを主にしっかりと聴きながら、答えていきたいです。このイグナチオ教会はさまざまな宝がいっぱいあります。この宝をただ自分たちのためにとどめておくのではなく、イエスが分かち合いたいと望んでいる人びとと分かち合うことができるようになりたいです。

幸いなことに、前主任司祭のときに、教会の大方針として、「ミッション 2030」を策定しました。その方針の基本は、「祈りに基づいて、私たちが使徒的共同体として」歩んでいくことです。今年は特に「福音を伝える」ことに重点を置いていく予定です。この点を意識しながら、聖霊の促しに心を開いて、一歩ずつ進んでいきましょう。

主任司祭として明らかに力不足な者ですから、信徒の皆さんと「きょうどう」していくことが不可欠です。キリストの望みをともに実現していけるように、どうぞよろしくお祈りします。

はなふさりゅういちろう
 新主任司祭 英 隆一朗 s.j.

ミッション 2030 の祈り

私たち聖イグナチオ教会は、祈りにもとづく使徒的共同体を生きていきます。

現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、環境破壊など、未来に希望を見いだすににくい反福音的なものに脅かされています。それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、いつくしみの扉を開いていきます。

私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、貧しい人や弱い人の声を聴き、皆でともに手をたずさえて（日本人も外国人も、老いも若きも）、福音のよろこびを分かち合っていく使命を生きていきます。

4月の共同祈願

イエス・キリストの復活の喜びに、
心を開いていく恵みをください。
復活した主とともに、賛美と感謝の心で
歩いていくことができますように。

朝の祈りにおいて：恵みを願って一日を始めよう

主の復活の喜びのうちに目覚め、
賛美の祈りをささげましょう。

今日一日、

主の復活の喜びを分かち合っていることができる
恵みを願いましょう。

晩の祈りにおいて：今日一日をふりかえってみよう

今日一日、イエス・キリストの復活の恵みを
どこで感じましたか。

今日一日の恵みに感謝をささげましょう。

新信徒代表のあいさつ

現代の社会に「福音を伝える」

現代の社会は、人とのつながりが薄れているように感じます。かつて日本社会は地縁（地域同士でのつながり）、血縁（血縁同士でのつながり）で基盤を作っていました。しかし近年は、農業、漁業、林業（第一次産業）に従事する人より、第三次産業に従事する人が増加し、また人間関係を嫌う、煩わしく思う人たちが、都市部へと移り住むようになりました。その結果、都市部の人口は増加傾向にあります。

また一時期地縁の代替的な役割を果たしていた職縁も、終身雇用制度の崩壊によって、次第に薄くなりつつあります。

都市部の生活は便利である反面、人との繋がりが薄いところでもあります。疲れたり、悩んだり、辛くなったり、寂しくなったり・・・つながりが無いという事は、「孤独」です。その上、自分を支えていた物を失ってしまったら、絶望を感じ、精神的に追い詰められていきます。家族がいたとしても多忙の中で互いを思いやる余裕がない場合もあります。

そのような中で私たちは、カトリック信徒として何ができるのでしょうか？

私たちにできる事は、イエス様の愛、つまり「福音を伝える」事です。人と人が助け、支え合う社会に向かって、私たち一人一人がイエス様のメッセンジャーになる事です。

当教会では2016年から2030年までミッションを実践するために、4本柱（祈りを深める・福音を伝える・共同体を生きる・きょうどう）を1年に1つずつ重点をおいて、キャンペーンや行事を行っています。2018年度は「福音を伝える」が、教会の年間テーマです。

私たちは、「福音」つまり「良い知らせ」を伝えるために、まず主の恵みに感謝し、喜びと希望を持ち、主に向かって歩いて行きましょう！「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」（テサー5—16）そして、笑顔を忘れてはいけません。

最後になりましたが、私は今年度信徒代表を拝命致しました、高橋早苗です。私は、小さき弱者です。どうして私が信徒代表に？といつも思っております。どこかの塾のキャッチフレーズのように、努力の結果である志望校合格と違い、私の場合はただただ主のお恵みです。主のなさる事は、人間には分からないのだと思います。

どうか、皆様、お力をお貸し下さい。お互いに支え合っていければと思っております。

「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」（ルカ1—38）

信徒代表 高橋早苗

新信徒評議員の紹介 (50音順)

小澤眞行

評議員のお話を頂いた時、不思議な思いが致しました。長い間、教会を離れさすらい、教会の皆さまが祈ってくださっていることを良いことに、気ままな生活を心地いいと感じていたからです。

しかし、格差や排除が顕わになり偶像がもてはやされる社会の現状をまのあたりにし、教会に戻ろうと思いました。ミッション 2030 に共感し、皆さまの神の国への歩みに加わりたいと思っています。どうぞよろしく願い致します。

楠本 祐司

「主はわれらの牧者、私とはぼしいことがない」「私たちは神の民、その牧場の群れ」。ミサで歌う答唱のなかで好きな2つです。私は教会に通い始めてから岩島神父の入門講座、日曜サロン、土曜聖歌隊等、人と出会いに恵まれて参りました。何より主日、平日朝昼晩のミサにおいてお導き頂きました佐々木主任司祭を初め司祭の皆様に感謝致しております。このたび頂いた命に従い教会、みなさま、そして「隣の人、小さき人たちに」仕えつながら歩めますように。神に感謝。

蔵 広子

イグナチオ教会で受洗のお恵みを49年前に頂いて以来、教会には家族共々お世話になるばかりでした。教会活動に参加できる時が与えられたのは10年くらい前からです。

現在チェチリア聖歌隊での奉仕と訪問グループ、クリーンアップ、水曜ティーサロンにも微力ながらの参加。また平日の教会案内では、信者でない方々の見学が多く、大都會の中のアクセス至便の大教会の存在意義を考えさせられます。

この度の評議員にとの仰せには、全く戸惑いましたが、無力な私ではなく、神様が働いて下さるのだと信じ、お引き受けいたしました。どうぞよろしく願いいたします。

関 真澄

33年前、教会での結婚式にあこがれ、未信者同士の結婚講座の門をくぐり、イグナチオ教会とのご縁ができました。

それ以来、神父様、信者の方々との素敵な出会いに恵まれ、現在、ザビエル会、水曜サロン、日曜サロンに参加させていただいております。

これから2年間は信徒評議員としてのお役目も担いつつ、まず、今年は、「福音を伝える」ということについて、皆様と意思、行いを深めて参りたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

谷口央樹

現在第二朗読グループに所属し、朗読の奉仕をさせて頂いております。今回評議員をお願いできないかとお声掛け頂いた時、最初はどうか迷って参りました。その時思い出したのが、私を洗礼へと導き座右の銘としている、ヨハネ福音書12章24節の「一粒の麦」の一節です。一粒の麦のように微力ではありますが、多くの実を結ぶように頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。

松橋 豊子

このイグナチオ教会で受洗をして10年が経ちました。その間たくさんのお出会いに恵まれました。特に、音訳サービスや第一朗読グループでのご奉仕を通して戴いた豊かな関わりは、私の心の支え、宝となっています。そして今、この共同体の一員として思い浮かぶ言葉、「いつも喜んでいなさい。」(テサロニケ5・16)が、心の奥深いところで広がり染みわたっていくことを静かに実感する時、大きなめぐみを感じます。

微力ではありますが、神様に信頼し、感謝の気持ちを込めて務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

初 聖 体
4月8日(日) 10:00 ミサ

約60人の子どもたちが昨年12月から初聖体の準備をしてきました。みなさんで子どもたちが神様とひとつになれるよう一緒にミサでお祈りいたしましょう。

ミッション2030 福音ワークショップ
4月22日(日) 13:00 ヨセフホール

ミッション2030 2年目のテーマは「福音を伝える」です。ワークショップ1回目は、英神父様の「福音とは？」の講話の後、

「あなたにとって福音とは？」
「洗礼を受けた時の気持ちを思い出そう！」
をテーマに分かち合いの時間を持つ予定です。

李 神父様 歓迎会
4月29日(日) 10:00 ミサ後 ヨセフホール

山口教会から李 ^{イ・サンウォン}相源 神父様が聖イグナチオ教会
助任司祭としていらっしゃいます。
多くの方のご参加で歓迎しましょう。

2018年度信徒評議員

信徒代表 高橋 早苗
副代表 若林 和久 山條由美子
(50音順)
浅井寛子 大塚裕章 小澤眞行
楠本祐司 蔵 広子 関 真澄
谷口央樹 西村久寿 松橋豊子

よろしくお願いたします。

ありがとうございました

2011年5月から約7年間、日曜日12時のミサに参加する信徒を中心にイグナチオ教会へ来られる英語圏の方々の信仰生活や社会生活を支援されてきたジョン・デ・ブリット イングリュシュセンターのシスターアビーが新し任地へ赴任することになりました。長い間、英語圏と日本人との交流にも尽力されたことに感謝いたします。

3月25日(日) 12時のミサで
花束と記念品の写真集をお贈りしました。



ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel

7:00 / 12:00 / 18:00 (Japanese)

(土曜日 18:00 は主日ミサ)

【日曜日 Sunday】主聖堂 Main Chapel

7:00 / 8:30 / 10:00 / 18:00

(Japanese)

12:00 (English) / 13:30 (Español)

Xavier Chapel 16:00 (Indonesian)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Main Chapel 15:00 (Việt Nam)

Mary Chapel 12:30 (Português)

16:00 (Polish)

主任司祭: 英 隆一朗

助任司祭: ギュンタ・ケルクマン

(アルファベット順) 李 相源

田丸 篤

協力司祭: ヘネロン・フローレス

(アルファベット順) ハビエル・ガラルダ

平林 冬樹

ブラザー: 吉羽 弘明

シスター: イベッテ・サンチェス

(セントロ・ロヨラ)

カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083 千代田区麴町6-5-1

TEL 03-3263-4584 FAX 03-3263-4585

ホームページアドレス: <http://www.ignatius.gr.jp>